

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	ふるさと原風景再生マネージメント事業
対象地域	篠山市丸山地区
活動概要	<p>今日まで継承されてきた伝統的な集落環境を篠山市の農村の原風景（仮称：ふるさと集落景観地区）として位置づけ、地域住民の参画と協働に基づくふるさと景観資源の発掘と修景整備を通して、谷川流域独自のふるさと景観形成を推進する。同時に景観を維持する営みや継承されてきた地球にやさしいライフスタイル、食文化を地域ブランドとして育み、情報発信し、都市住民の自然や本物志向、スローライフ等の体験志向に対応したツーリズムとして積極的に都市住民を受け入れ、空き家の古民家を再利用して都市住民との交流や一時滞在施設として農家民泊の試行的運用を行う。</p>
今年度の主な取組	<p>篠山市の丸山集落をモデルに住民参画に基づく景観資源の発掘による修景整備と空き家を活用した農家民泊の計画づくりを行う。</p> <p>① 景観資源の発掘（ワークショップ）による集落全体の修景整備 ワークショップを開催し、地区住民・市役所の若手職員とともに地区の修景整備の方向性（考え方）を取り纏め、住民等の抱くイメージとアイデアを元にした取り組み方針（案）を策定する。また、ワークショップニュースを発刊し、関係者間の進捗状況の確認や外部へのPRツールとして活用する。</p> <p>② 空き家を利活用した農家民泊の開業実施計画の策定 集落の空き家7軒のうち、事前に協力の申し出のあった3軒について、間取り調査と持ち主へのヒアリングによる空き家活用調査を行い、空き家活用システム計画を策定する。また、農家民泊を経営する上での心構えと農家民泊経営のノウハウを学習するため、住民向けのもてなし講座を開催する。</p> <p>③ 農家民泊開設を記念したイベントの開催計画策定 篠山市の築城400年祭の行事としての緑化修景や古民家を活かした取組の計画策定を行う。</p> <p>④ フォーラム（報告会）の開催 空き家を活用した地域の活性化プランを市民に提示する報告会の開催する。</p>
活動結果	<p>地域住民のうち、高齢者等を除くほぼ全員がワークショップに参加し、空き家を活用し農家民泊施設を運営するという方向性について理解を得ることができた。また、地域の魅力を再認識し、ワークショップを通して、地域の将来像を一緒に考えることができた。</p> <p>地域の活性化には、空き家や耕作放棄地といった不動産の流動性を高めることが不可欠であるため、活用管理できなくなった資産は、地域の共有資産として「維持管理機構」を含む事業組合で活用する手法を考案した。</p>

<p>当初予想していなかった効果</p>	<p>活動を続けていく過程で当初空き家の提供を申し出た地区外に住む世帯が、丸山地区の魅力を再認識し、住んでいる駅前の家を売却して地区に帰ってくることを決めた。わずか人口19人の集落にとっては大変大きな成果となった。</p>
<p>実施状況(写真)</p>	<div data-bbox="724 483 1150 792" data-label="Image"> </div> <p>【写真】ワークショップの様子</p>
<p>応募団体名</p>	<p>(財)兵庫丹波の森協会、NPO法人 たんばぐみ、(株)プロビスささやま、丸山自治会</p>
<p>リンク</p>	<p>(財)兵庫丹波の森協会 http://tamba-mori.or.jp/kyoukai/index.html NPO法人たんばぐみ http://www.tambagumi.com</p>
<p>部局／担当者名</p>	<p>(財)兵庫丹波の森協会 丹波の森研究所 横山宜致</p>
<p>連絡先</p>	<p>TEL/FAX 079-506-3530</p>
<p>推薦市町村名</p>	<p>兵庫県篠山市</p>